

## スペイン議会選挙概要(投票結果:速報)

令和元年11月11日  
外務省西欧課

現地時間11月10日(日), スペインにおいて上下両院議会選挙が実施されたところ, 現地時間11日午前0時09分(日本時間11日午前8時09分)時点の速報結果は以下のとおり。

- 本年4月28日に上下両院議会選挙が実施されたものの, 首班指名が不成立となったことから, 議会解散となり, 11月10日, スペイン下院全350議席, 上院208議席(今次選挙での選出分。全議席は265議席)についての議会選挙が実施された。
- 首相選出権限を有する下院では, 単独過半数を得た政党はなく, サンチェス首相率いる与党社会労働者党(PSOE, 中道左派)は, 120議席を獲得し第1党の地位を維持(注:本年4月28日の前回選挙での獲得議席は123議席)。従来の二大政党制の一翼を担ってきた民衆党(P P, 中道右派)は, 前回選挙時(66議席)から獲得議席を伸ばし, 88議席を獲得して第2党の座を維持。
- 前回選挙でスペインの一体性維持, 国民的尊厳の回復を求める考えから, カタルーニャ独立派的動きへの反対等を主張し初めて議席(24議席)を獲得したVOXは大幅に伸張(52議席), 議会第3の勢力となった。
- 12月3日に議会が招集され, その後各種手続を経て新首相の信任投票が行われる。今後, 信任投票に向けPSOEを中心とする連立・協力協議が行われる見通し。前回選挙後と同様に右協議に時間がかかることも想定され, 政権発足は年明けになる可能性も排除されない。

### 1 選挙に至った経緯

- (1)2018年6月の内閣不信任案可決を受け, 政権についてサンチェス首相(社会労働者党(PSOE, 中道左派))は, 上下院とも過半数に満たない脆弱な政権基盤の中, 2019年2月13日に2019年予算案が下院で否決されたことを契機に上下院を解散し, 同年4月28日に議会選挙が実施された。
- (2)同選挙ではPSOEは過半数を得るには至らなかったが, 下院第一勢力の座を獲得し, サンチェス暫定首相が首相候補に推挙された。しかし, 7月23日の下院(全350議席)における第1回信任投票は, 賛成124, 反対170, 棄権52となり, 憲法上必要な絶対過半数(176票)を獲得できず, 7月25日に実施された第2回信任投票でも, 賛成124, 反対155, 棄権67で, 憲法上必要な単純多数を獲得できず, 信任不成立となった。
- (3)その後もPSOEが主にポデモス連合(急進左派)と連立協議を実施したが, 当該協議は不調に終わり, 憲法規定に従い, 9月24日に上下両院(上院265議席, 下院350議席)が解散され, 11月10日に再選挙が行われることとなった。

### 2 結果概要

- (1)首相選出権限を有する下院では, 単独過半数を得た政党はなく, サンチェス首相率いる与党社会労働者党は, 120議席を獲得し第1党の地位を維持(注:本年4月28日の前回選挙で

の獲得議席は123議席)。従来の二大政党制の一翼を担ってきた民衆党(PP, 中道右派)は、前回選挙時(66議席)から獲得議席を伸ばし、88議席を獲得して第2党の座を維持。

(2) 前回選挙でスペインの一体性維持, 国民的尊厳の回復を求める考えから, カタルーニャ独立派的動きへの反対等を主張し初めて議席(24議席)を獲得したVOXは, 52議席を獲得し勢力を大幅に伸張, 議会第3の勢力となった。

(3) 前回選挙で第3の勢力となった市民党(中道右派)は前回選挙の57議席から10議席に勢力を大幅に縮小, 前回選挙後にPSOEと連立・協力協議を行ったポデモス連合は, 前回選挙の42議席から35議席に勢力を縮小した。

### 3 開票結果(現地時間11日0:09現在)

(1) 下院(開票率99.95%, 投票率69.87%。注:首相選出は下院の専権事項)

政党名	得票率(%)	議席数(<>内は前回選挙)
社会労働者党(PSOE)(中道左派)	28.00%	120<123>
民衆党(PP)(中道右派)	20.81%	88<66>
VOX(保守・右派)	15.09%	52<24>
ポデモス連合(急進左派)	12.84%	35<42>
カタルーニャ共和左派(ERC) (左派, 分離独立派)	3.61%	13<15>
市民党(中道右派)	6.79%	10<57>
カタルーニャと共に(分離独立派)	2.19%	8<7>
バスク民族主義党(PNV)	1.57%	7<6>
EHビルドゥ(バスク急進左派)	1.15%	5<4>
マス・パイス(左派)	2.08%	3<0>
カナリア連合	0.51%	2<2>
民衆連合(分離独立派)	1.02%	2<0>
ナバーラ結集(ナバラ州地域政党と PP, 市民党の連合)	0.41%	2<2>
テルエル存在党	0.08%	1<0>
ガリシア民族主義連合	0.50%	1<0>
カンタブリア地域主義党	0.28%	1<1>

(2) 上院(開票率99.74%, 投票率69.55%)

政党名	議席数(<>内は前回選挙)
社会労働者党(PSOE)	92<123>
民衆党(PP)	84<54>
カタルーニャ共和左派(ERC)	11<11>
バスク民族主義党(PNV)	9<9>
ナバーラ結集	3<3>
カタルーニャと共に	3<2>
テルエル存在党	2<0>
VOX	2<0>
ゴメラ社会主義連合(ASG:カナリア州地域政党)	1<1>

(注) 上院議席総数は265のうち、57議席は各自治州任命分で、今次選挙で選出分は208議席のみ。

#### 4 今後の見通し等

- (1) 議会召集は12月3日の予定であり、新首相に係る信任投票の実施はそれ以降となる。
- (2) 単独過半数(176議席)を得た政党はなく、政権樹立には連立・協力協議が必要となる。サンチェス暫定首相の再任を目指すPSOEを中心とする連立・協力協議が進められていくと考えられる。
- (3) 連立・協力の態様の可能性は、カタルーニャ分離独立派政党を含めた連立・協力や一部の中道右派勢力との連立・協力など複数あるところ現時点の詳細な予測は困難であるが、前回選挙後と同様に連立・協力協議に時間がかかることも想定され、政権発足は年明けになる可能性も排除されない。

#### 【参考】首相選出に関する憲法規定(スペイン憲法第99条)

- 国王が下院の各政党の代表との協議の後、下院議長を通じて首相候補者を指名。
- 当該候補者は、下院で施政方針演説を行った上でその信任が問われる。
- 当該候補者が下院の絶対多数(176票)の信任を得た場合、国王はその者を首相に任命。
- 信任を得られない場合は48時間後に再び投票を行い、単純多数の信任を得た場合に国王はその者を首相に任命。
- 単純多数を得られない場合は、再び国王の首相候補者指名から上記と同じプロセスが行われ、首相の信任が得られるまでプロセスは継続するが、第1回目の投票日から2ヶ月以内に首相が選出されない場合、国王は上下両院を解散し、再選挙となる。

(了)